

場所	本文	正
p.18, l.22	<a href="http://www.theiia.org/iia/index.cfm?doc_id=4248">http://www.theiia.org/iia/index.cfm?doc_id=4248</a>	<a href="https://www.tide.org.tr/uploads/DetectingFraudBook.pdf">https://www.tide.org.tr/uploads/DetectingFraudBook.pdf</a>
p.20, l.15	シートインデックスコマンド	シートインデックスの作成コマンド
p.27, l.3 ほか	メニュー又はタブ	ショートカット又はタブ ※ 最新版の ActiveData では、右クリックメニューの内容が大きく変わりました。右クリックメニューの中にある「ActiveData ショートカット」により、ActiveData リボンを開くことなくすべての ActiveData コマンドを利用することができるようになっています。
p.28, l.6 ほか	「And」ボタンをクリックします。	カーソルを右端に移動させ、「And」ボタンをクリックします。 ※ 「And」ボタンに限りませんが、当該画面上の各ボタンは、カーソルの位置に内容を挿入します。
p.31, l.12	行>タグをクリア	タグ>タグ付き行を削除
p.33, l.3 (追加)		「数式をもとに列名を付ける」のチェックは外してください。 ※ このチェックを入れたままの場合、列名には数式をもとに自動的に設定されてしまいます。
p.35, l.4	Count.Difference	件数.差異
p.35, l.12	列>列の配置	列>列の操作
p.39, l.1	列名を横に表示オプションを選択した場合	列名を横に表示オプションを選択しない場合
p.39, l.2	列名を横に表示オプションを選択しない場合	列名を横に表示オプションを選択した場合
p.49, l.4	シート>結合シート	シート>シートの結合
p.52, l.2 ほか	数式により抽出ダイアログボックス	式ビルダーダイアログボックス
p.56, l.9 ほか	改名	名前の変更
p.57, l.19 ほか	支払データ.xls	仕入データ.xls
p.71, l.14	登録日	登録日付
p.75, l.6	レポートの最初の 1 行目	レポートの最終行
p.87, l.5	OK ボタン	タグ付加ボタン

p.104, l.10	-ボタンをクリック	カーソルを右端に移動して-ボタンをクリック
p.112, l.5	統計列の後に	統計列の途中後に
p.118, l.3	差異日数	日付差異
p.121, l.3	22章の記述統計/ベンフォード分析	2章の統計/ベンフォード分析
p.126, l.2 ほか	最初の数式により抽出ダイアログボックスで数式をクリックして、ここに表示されたように、拡張されたダイアログボックスを表示します。	(削除) ※ 「拡張されたダイアログボックス」は起動時には表示されなくなりました。
p.128, l.8 ほか	階層(金額帯)ワークテーブル 階層(金額帯)テーブル 階層(金額帯)ワーク領域	階層テーブル
p.141, l.2	仕訳伝票番号	仕訳番号
p.141, l.9	ギャップ>総勘定元帳	ギャップ分析>総勘定元帳
p.145, l.6	"Text & Functions"関数	日付/時刻
p.145, l.6	DATE(年、月、日)	DATE(year,month,day)
p.151, l.8	優先されるキー	最優先されるキー